



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6254 URL <https://www.nomura-nms.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 内田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 西村 司朗 TEL 046-228-5195
 定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	96,359	32.0	15,372	44.4	13,399	23.9	10,199	27.8
2024年3月期	73,021	47.2	10,647	62.6	10,819	68.6	7,978	37.4

(注) 包括利益 2025年3月期 9,892百万円 (15.5%) 2024年3月期 8,562百万円 (41.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	270.75	263.64	31.4	14.3	16.0
2024年3月期	213.47	209.70	32.1	19.2	14.6

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(注) 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	116,783	37,013	31.2	963.39
2024年3月期	70,602	28,924	40.4	760.74

(参考) 自己資本 2025年3月期 36,476百万円 2024年3月期 28,538百万円

(注) 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	△18,729	△4,215	27,178	16,539
2024年3月期	△18,662	386	17,451	11,859

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	ー	60.00	ー	190.00	250.00	2,342	29.4	9.4
2025年3月期	ー	20.00	ー	60.00	80.00	3,025	29.7	9.2
2026年3月期(予想)	ー	20.00	ー	50.00	70.00		69.1	

(注) 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年3月期及び2026年3月期(予想)については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,500	35.8	2,115	36.2	1,114	—	825	—	21.78
通期	60,000	△37.7	6,200	△59.7	5,184	△61.3	3,837	△62.4	101.33

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）野村マイクロ・サイエンス Singapore Pte. Ltd.

除外 1社 （社名）野村（上海）水处理工程技术有限公司

（注）詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期	40,608,000株	2024年3月期	40,608,000株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期	2,744,939株	2024年3月期	3,093,644株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2025年3月期	37,670,583株	2024年3月期	37,372,352株
----------	-------------	----------	-------------

（注）当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	26,818	32.4	3,409	144.3	6,097	38.3	4,837	27.6
2024年3月期	20,262	△11.1	1,395	△24.8	4,407	66.0	3,790	83.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	128.42	125.04
2024年3月期	101.42	99.63

（注）当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	88,644	20,179	22.2	518.77
2024年3月期	47,598	17,083	35.1	445.10

（参考）自己資本 2025年3月期 19,642百万円 2024年3月期 16,697百万円

（注）当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手）

当社は、2025年5月22日（木）に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配付する資料については、同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	18
(重要な後発事象の注記)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、地域差はあるものの緩やかな回復傾向を示した一方、各国の金融・貿易政策動向の不確実性、中国経済の今後の見通しへの懸念、地政学リスクの高まり等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、生成AI関連が引き続き好調に推移し、メモリー及びロジック製品の需要が増加したことを受け、設備投資が拡大しております。

Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) は最先端及び成熟ロジック、先進パッケージング、広帯域幅メモリーの生産能力拡大に向けた投資の増加等により2024年の世界半導体製造装置販売額が過去最高額の1,170億米ドル（前年比10.0%増）に達したと発表しました。

このような状況下、当社グループは企業価値の拡大を目指し、2023年11月に策定した中期経営計画『Together Toward Transformation 26 (TTT-26)』の達成に向け、①収益性の向上、②資本効率化、③財務最適化、株主還元、④社会的価値創出に注力し、半導体・製薬業界へのアプローチ強化やエンジニアリングプロセスの改革を実行し、生産性・収益性の向上を図るとともに、サステナビリティ経営の実現に向けて各種施策に取り組んでまいりました。

この結果、受注高は94,531百万円（前期比32.7%増）、売上高は96,359百万円（同32.0%増）、営業利益は15,372百万円（同44.4%増）、経常利益は13,399百万円（同23.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10,199百万円（同27.8%増）となり、売上、利益ともに過去最高水準を達成いたしました。

【受注高】

当社グループの主要顧客である半導体関連企業の設備投資は引き続き旺盛であり、受注高は過去最高水準となりました。中期経営計画において「半導体製造拠点の分散化への対応」を営業戦略として掲げており、新規現地法人設立など東南アジア・インド等への拡販に注力したことにより、新規取引先からの受注も獲得することができました。

【売上高】

水処理装置については、受注済み大型水処理装置の工事が順調に進捗するとともに各地域の受注が堅調に推移したこと等により、売上高は78,767百万円（前期比36.7%増）となりました。また、メンテナンス及び消耗品についても、半導体関連企業を中心に受注が堅調に推移し、売上高は15,537百万円（同19.9%増）となりました。一方、その他の事業については、海外の大型半導体製造装置向け配管材料の売上が一巡したこと等により、売上高は2,055百万円（同16.5%減）となりました。

【利益】

利益面については、米国及び日本の大型水処理装置をはじめ、各地域の工事が順調に進捗し大幅増収となったこと等により、営業利益以下の各段階利益で前期を大幅に上回りました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

受注済み国内大型水処理装置の工事が順調に進捗したことにより、売上高は26,523百万円（前期比51.2%増）となりました。営業利益については高採算大型案件の寄与等により4,009百万円（同138.9%増）となり、大幅な増収増益となりました。

② 韓国

メンテナンス及び消耗品の受注が堅調に推移した一方、前期までの大型水処理装置案件の反動により、売上高は3,223百万円（同38.6%減）、営業利益は320百万円（同83.0%減）となりました。

③ 中国

水処理装置の工事が順調に進捗したことにより、売上高は9,949百万円（同39.1%増）となりました。営業利益については水処理装置の利益改善等により993百万円（同70.8%増）となりました。

④ 台湾

メンテナンス及び消耗品の受注が堅調に推移した一方、前期までの大型水処理装置案件の反動により、売上高は4,291百万円（同54.3%減）、営業利益は1,552百万円（同47.4%減）となりました。

⑤ 米国

受注済み大型水処理装置の工事が順調に進捗したことに加え、追加工事を受注したこと等により、売上高は52,371百万円（同55.4%増）、営業利益は8,497百万円（同139.5%増）と大幅な増収増益となりました。

⑥ その他

当連結会計年度において、中期経営計画「TTT-26」の実現に向け、営業戦略で掲げた「半導体製造拠点の分散化への対応」として、昨今半導体投資が活発なシンガポールへの営業強化及び東南アジア地域への事業展開を目的に、シンガポールに野村マイクロ・サイエンス Singapore Pte. Ltd. を新たに設立いたしました。なお、当連結会計年度においては営業活動を開始していないため、売上高及び営業利益の計上はありません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ43,485百万円増の108,990百万円（前期比66.4%増）となりました。主な要因は、契約資産の増加41,781百万円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,694百万円増の7,792百万円（同52.9%増）となりました。主な要因は、リース資産（純額）の増加1,023百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加897百万円、繰延税金資産の増加709百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末比65.4%増の116,783百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ37,613百万円増の78,894百万円（同91.1%増）となりました。主な要因は、短期借入金の増加29,777百万円、契約負債の増加3,752百万円、未払法人税等の増加2,293百万円等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ476百万円増の874百万円（同119.8%増）となりました。主な要因は、リース債務の増加489百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末比91.4%増の79,769百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8,089百万円増の37,013百万円（同28.0%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加7,639百万円、資本剰余金の増加564百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は31.2%（前連結会計年度末は40.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べて4,679百万円増加し、当連結会計年度末には16,539百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、18,729百万円（前期は18,662百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益13,399百万円、棚卸資産の減少額8,216百万円、契約負債の増加額3,803百万円、その他の負債の増加額2,414百万円となった一方で、売上債権の増加額46,946百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4,215百万円（前期は386百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,577百万円、定期預金の預入による支出508百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、27,178百万円（前期は17,451百万円の獲得）となりました。これは主に、配当金の支払額2,530百万円となった一方で、短期借入れによる収入29,991百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米国の関税政策を起因とした通商問題や為替変動、地政学リスクの高まり等景気後退に対する懸念は払拭されておらず、世界経済の先行きは不透明な状況が続くものと予測しております。

当社グループの主要ドメインである半導体業界は、ハイパフォーマンスコンピューティングやデータセンター拡大を支えるメモリー分野に加え、AIインテグレーション拡大によるエッジデバイスの増加等を背景に、今後も成長が期待されております。また、製薬市場においては、新薬やバイオ製剤等を中心とした内需製薬関連の継続的な投資が見込まれております。当社グループは、顧客ニーズの的確な把握による差別化と提案営業の強化を図り、中期経営計画の達成に向けて各種施策に取り組んでまいります。

【2026年3月期 連結業績予想】

半導体関連市場の投資意欲は引き続き旺盛であり、各国で半導体関連の大型水処理装置の受注を想定していることにより受注高は117,229百万円（前期比24.0%増）を見込んでおります。一方、前連結会計年度に米国大型水処理装置案件を計上したことの反動に加え、大型水処理装置案件の受注が下期に想定されていること等により、売上高は60,000百万円（同37.7%減）、営業利益は6,200百万円（同59.7%減）、経常利益は5,184百万円（同61.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,837百万円（同62.4%減）を見込んでおります。

本資料の業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益分配に関する基本方針

当社グループは、継続的な企業価値拡大と共に安定した株主還元を継続することを目標に掲げており、健全な財務基盤を維持しつつ、配当性向30%を目標にバランスの取れたキャッシュアロケーションを実践してまいります。

剰余金の配当の決定機関は、期末配当につきましては株主総会、中間配当につきましては取締役会であります。

② 当期の配当

当期の配当につきましては、当期の業績並びに今後の事業展開等を総合的に勘案し、中間配当20円及び期末配当60円の1株当たり年間80円とさせていただきます予定です。

③ 次期の配当

次期の配当につきましては、業績見通し等を勘案し1株当たり中間配当20円、同期末配当50円の年間70円を予定しております。

なお、当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

今後におきましても持続的な収益力の確保、企業価値拡大を図るとともに、顧客ニーズに応える開発体制及び営業力の強化等を総合的に勘案した上で、利益水準に応じた株主還元を検討する所存であります。

当社は、会社法第454条第5項に基づき「取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第5編及び第6編を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,141,827	17,330,150
受取手形	334,995	83,678
売掛金	8,081,698	11,061,653
契約資産	29,412,219	71,193,955
電子記録債権	772,150	2,534,590
商品及び製品	456,218	552,990
仕掛品	11,181,769	2,009,656
原材料及び貯蔵品	977,213	1,159,077
前渡金	1,073,765	1,900,119
未収入金	1,051,415	618,747
その他	448,570	951,573
貸倒引当金	△427,141	△405,851
流動資産合計	65,504,704	108,990,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,344,133	2,362,456
減価償却累計額	△1,175,801	△1,208,119
建物及び構築物(純額)	1,168,332	1,154,337
機械装置及び運搬具	1,486,489	3,282,773
減価償却累計額	△1,184,632	△2,083,428
機械装置及び運搬具(純額)	301,856	1,199,345
工具、器具及び備品	1,078,053	1,072,110
減価償却累計額	△887,201	△932,451
工具、器具及び備品(純額)	190,851	139,658
土地	1,281,922	1,246,902
リース資産	73,512	1,527,594
減価償却累計額	△58,519	△489,354
リース資産(純額)	14,992	1,038,239
建設仮勘定	100,482	179,383
有形固定資産合計	3,058,439	4,957,867
無形固定資産		
その他	104,835	119,477
無形固定資産合計	104,835	119,477
投資その他の資産		
投資有価証券	793,608	846,167
退職給付に係る資産	356,940	307,338
繰延税金資産	37,080	746,813
敷金及び保証金	520,300	527,761
その他	226,887	287,373
投資その他の資産合計	1,934,818	2,715,454
固定資産合計	5,098,092	7,792,798
資産合計	70,602,796	116,783,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,230,558	9,251,132
短期借入金	22,380,300	52,158,200
リース債務	7,894	547,338
未払金	724,060	924,386
未払法人税等	1,549,682	3,843,103
契約負債	5,578,074	9,330,148
製品保証引当金	259,946	241,844
工事損失引当金	2,517	—
賞与引当金	637,233	598,072
役員賞与引当金	21,360	20,827
資産除去債務	10,628	30,106
その他	878,390	1,949,469
流動負債合計	41,280,647	78,894,628
固定負債		
リース債務	8,131	497,703
長期未払金	141,634	141,634
退職給付に係る負債	7,354	10,121
役員退職慰労引当金	199,377	222,226
繰延税金負債	41,427	2,891
固定負債合計	397,925	874,575
負債合計	41,678,572	79,769,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,722,280	3,286,603
利益剰余金	22,096,858	29,736,483
自己株式	△372,027	△330,121
株主資本合計	26,683,912	34,929,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	336,849	373,594
繰延ヘッジ損益	△29	—
為替換算調整勘定	1,517,984	1,173,591
その他の包括利益累計額合計	1,854,804	1,547,185
新株予約権	385,507	536,984
純資産合計	28,924,224	37,013,936
負債純資産合計	70,602,796	116,783,140

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	73,021,486	96,359,952
売上原価	57,614,351	75,249,503
売上総利益	15,407,134	21,110,449
販売費及び一般管理費	4,759,359	5,738,287
営業利益	10,647,775	15,372,161
営業外収益		
受取利息	81,572	44,743
受取配当金	19,029	27,767
受取家賃	26,212	26,723
為替差益	651,528	—
受取保険金	2,801	50,986
補助金収入	—	22,237
その他	31,607	41,939
営業外収益合計	812,752	214,398
営業外費用		
支払利息	589,201	1,899,294
為替差損	—	260,629
その他	52,047	26,795
営業外費用合計	641,248	2,186,720
経常利益	10,819,278	13,399,839
特別利益		
固定資産売却益	11,160	—
新株予約権戻入益	2,636	—
特別利益合計	13,797	—
特別損失		
固定資産除却損	5,467	25
特別損失合計	5,467	25
税金等調整前当期純利益	10,827,609	13,399,813
法人税、住民税及び事業税	2,652,925	3,997,335
法人税等調整額	196,660	△797,164
法人税等合計	2,849,585	3,200,171
当期純利益	7,978,023	10,199,642
親会社株主に帰属する当期純利益	7,978,023	10,199,642

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	7,978,023	10,199,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173,411	36,745
繰延ヘッジ損益	△28,958	29
為替換算調整勘定	439,851	△344,393
その他の包括利益合計	584,304	△307,618
包括利益	8,562,327	9,892,023
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,562,327	9,892,023

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,236,800	2,387,653	15,703,135	△406,675	19,920,913
当期変動額					
剰余金の配当			△1,584,299		△1,584,299
親会社株主に帰属する当期純利益			7,978,023		7,978,023
自己株式の取得				△3,910	△3,910
自己株式の処分		334,627		38,558	373,186
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	334,627	6,393,723	34,648	6,762,999
当期末残高	2,236,800	2,722,280	22,096,858	△372,027	26,683,912

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	163,437	28,929	1,078,133	1,270,500	209,695	21,401,108
当期変動額						
剰余金の配当						△1,584,299
親会社株主に帰属する当期純利益						7,978,023
自己株式の取得						△3,910
自己株式の処分						373,186
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	173,411	△28,958	439,851	584,304	175,811	760,115
当期変動額合計	173,411	△28,958	439,851	584,304	175,811	7,523,115
当期末残高	336,849	△29	1,517,984	1,854,804	385,507	28,924,224

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,236,800	2,722,280	22,096,858	△372,027	26,683,912
当期変動額					
剰余金の配当			△2,536,065		△2,536,065
親会社株主に帰属する当期純利益			10,199,642		10,199,642
自己株式の取得				△44	△44
自己株式の処分		564,322		41,950	606,273
連結子会社の合併による増減			△23,952		△23,952
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	564,322	7,639,624	41,906	8,245,853
当期末残高	2,236,800	3,286,603	29,736,483	△330,121	34,929,766

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	336,849	△29	1,517,984	1,854,804	385,507	28,924,224
当期変動額						
剰余金の配当						△2,536,065
親会社株主に帰属する当期純利益						10,199,642
自己株式の取得						△44
自己株式の処分						606,273
連結子会社の合併による増減						△23,952
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	36,745	29	△344,393	△307,618	151,477	△156,141
当期変動額合計	36,745	29	△344,393	△307,618	151,477	8,089,712
当期末残高	373,594	—	1,173,591	1,547,185	536,984	37,013,936

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,827,609	13,399,813
減価償却費	307,261	1,653,224
株式報酬費用	323,242	373,101
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25,296	△18,585
賞与引当金の増減額 (△は減少)	242,884	△37,119
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,273	△533
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△37,451	△19,590
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	882	△2,517
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△170,880	52,369
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△79,934	22,848
受取利息及び受取配当金	△100,602	△72,511
支払利息	589,201	1,899,294
為替差損益 (△は益)	1,744	△621
固定資産売却損益 (△は益)	△11,160	—
固定資産除却損	5,467	25
新株予約権戻入益	△2,636	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,728,162	△46,946,293
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,964,233	8,216,250
前渡金の増減額 (△は増加)	2,169,855	△797,089
その他の資産の増減額 (△は増加)	△125,181	582,687
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,102,397	224,799
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,137	35,652
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,181,960	3,803,028
長期未払金の増減額 (△は減少)	△9,021	—
その他の負債の増減額 (△は減少)	△197,090	2,414,665
小計	△17,023,333	△15,217,098
利息及び配当金の受取額	113,934	72,568
利息の支払額	△69,232	△1,486,875
法人税等の支払額	△1,684,170	△2,097,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,662,802	△18,729,030

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△344,203	△3,577,400
有形固定資産の売却による収入	17,826	—
ソフトウェアの取得による支出	△11,250	△61,502
無形固定資産の取得による支出	△755	△515
投資有価証券の取得による支出	△10,001	△0
定期預金の預入による支出	—	△508,500
定期預金の払戻による収入	654,100	—
敷金及び保証金の差入による支出	△143,215	△96,581
敷金及び保証金の回収による収入	169,641	58,692
未収入金の回収による収入	58,470	—
貸付けによる支出	—	△5,526
貸付金の回収による収入	—	4,000
その他	△3,620	△28,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	386,992	△4,215,704
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	19,900,100	29,991,300
短期借入金の返済による支出	△1,029,420	△211,000
リース債務の返済による支出	△8,748	△440,144
自己株式の処分による収入	172,412	368,864
自己株式の取得による支出	△742	△44
配当金の支払額	△1,581,914	△2,530,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,451,687	27,178,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	△532,118	445,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,356,240	4,679,823
現金及び現金同等物の期首残高	13,216,067	11,859,827
現金及び現金同等物の期末残高	11,859,827	16,539,650

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当連結会計年度において、野村マイクロ・サイエンス Singapore Pte. Ltd. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、当連結会計年度において、当社の連結子会社であった野村(上海)水処理工程技術有限公司は、当社の連結子会社である上海野村水処理工程有限公司を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表及び1株当たり情報への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表及び1株当たり情報への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、水処理装置事業が主力事業であり、国内外において水処理装置の設計・施工及び販売とそのメンテナンス等を主たる業務としております。当社が国内ユーザー及び海外ユーザーに直接販売しているほか、連結子会社6社を通じて、韓国、中国、台湾、米国、その他の地域の各ユーザーに対し、それぞれ販売等を行っております。連結子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは設計・施工及び販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「韓国」、「中国」、「台湾」、「米国」及び「その他」の6つを報告セグメントとしております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当連結会計年度において、シンガポールに野村マイクロ・サイエンス Singapore Pte. Ltd. を新たに設立し、連結の範囲に含めたことに伴い、新たな報告セグメントとして「その他」を追加しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント						
	日本	韓国	中国	台湾	米国	その他	計
売上高							
外部顧客への売上高	17,539,989	5,248,930	7,153,892	9,386,704	33,691,970	—	73,021,486
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,605,255	4,713,974	140,194	—	343,359	—	10,802,783
計	23,145,244	9,962,904	7,294,087	9,386,704	34,035,329	—	83,824,269
セグメント利益	1,678,358	1,888,193	581,338	2,951,999	3,547,885	—	10,647,775
セグメント資産	23,639,770	3,020,133	6,968,112	7,166,016	29,808,764	—	70,602,796
セグメント負債	30,967,862	964,716	4,620,085	2,861,426	2,264,480	—	41,678,572
その他の項目							
減価償却費	222,223	69,791	15,133	90	22	—	307,261
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	430,900	159,853	4,683	—	—	—	595,437

	調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
売上高		
外部顧客への売上高	—	73,021,486
セグメント間の内部売上高又は振替高	△10,802,783	—
計	△10,802,783	73,021,486
セグメント利益	—	10,647,775
セグメント資産	—	70,602,796
セグメント負債	—	41,678,572
その他の項目		
減価償却費	—	307,261
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	595,437

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント						
	日本	韓国	中国	台湾	米国	その他	計
売上高							
外部顧客への売上高	26,523,624	3,223,557	9,949,545	4,291,905	52,371,318	—	96,359,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,309,700	914,222	42,891	—	24,946	—	3,291,760
計	28,833,325	4,137,780	9,992,437	4,291,905	52,396,264	—	99,651,712
セグメント利益	4,009,225	320,233	993,032	1,552,429	8,497,240	—	15,372,161
セグメント資産	32,108,032	1,639,540	8,479,812	4,055,460	70,444,554	55,740	116,783,140
セグメント負債	68,793,311	459,616	5,096,659	912,193	4,507,422	—	79,769,204
その他の項目							
減価償却費	1,517,237	118,589	16,793	424	179	—	1,653,224
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,755,116	66,395	14,691	2,595	1,134	—	3,839,934

	調整額	連結財務諸表 計上額 (注)
売上高		
外部顧客への売上高	—	96,359,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	△3,291,760	—
計	△3,291,760	96,359,952
セグメント利益	—	15,372,161
セグメント資産	—	116,783,140
セグメント負債	—	79,769,204
その他の項目		
減価償却費	—	1,653,224
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	3,839,934

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	中国	台湾	米国	その他(注) 2	合計
13,037,621	7,673,600	8,653,999	3,927,287	33,691,970	6,037,008	73,021,486

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」に含まれる国は、シンガポール、フィリピン、マレーシアであります。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	韓国	中国	台湾	米国	その他	合計
2,187,747	803,660	65,644	1,386	—	—	3,058,439

(注) 「その他」に含まれる国は、シンガポールであります。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
SAMSUNG AUSTIN SEMICONDUCTOR, L. L. C.	33,691,970	米国

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	中国	台湾	米国	その他(注) 2	合計
25,213,303	3,804,884	10,704,464	2,450,872	52,324,810	1,861,617	96,359,952

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」に含まれる国は、シンガポール、フィリピン、マレーシアであります。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	韓国	中国	台湾	米国	その他	合計
4,214,406	682,391	58,809	1,300	958	—	4,957,867

(注) 「その他」に含まれる国は、シンガポールであります。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
SAMSUNG AUSTIN SEMICONDUCTOR, L. L. C.	52,436,740	米国

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	760.74円	963.39円
1株当たり当期純利益	213.47円	270.75円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	209.70円	263.64円

(注) 1. 当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	7,978,023	10,199,642
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	7,978,023	10,199,642
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,372	37,670
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	672	1,016
(うち自己株式取得方式によるストック・オプション(千株))	(672)	(1,016)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。